平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月9日

上場会社名　株式会社 サンゲツ　　上場取引所　東 名
コード番号　8130　URL　http://www.sangetsu.co.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 日比 賢昭
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長　(氏名) 上原　健　TEL 052-564-3331

定時株主総会開催予定日　平成24年6月27日　配当支払開始予定日　平成24年6月28日
有価証券報告書提出予定日　平成24年6月27日
決算補足説明資料作成の有無　：　無
決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期の連結業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	118,518	5.7	7,095	△0.9	7,180	△4.6	4,151	△2.2
23年3月期	112,118	3.3	7,161	26.8	7,530	24.6	4,242	35.2

(注)包括利益　24年3月期　4,334百万円　(9.6%)　23年3月期　3,955百万円　(12.6%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
24年3月期	103.46	―	3.5	5.1	6.0
23年3月期	105.75	―	3.6	5.5	6.4

(参考) 持分法投資損益　24年3月期　―百万円　23年3月期　―百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	142,247	119,409	83.9	2,976.09
23年3月期	138,908	118,084	85.0	2,943.06

(参考) 自己資本　24年3月期　119,409百万円　23年3月期　118,084百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
24年3月期	422	△209	△3,198	12,425
23年3月期	4,437	△7,320	△3,041	15,519

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
23年3月期	―	37.50	―	37.50	75.00	3,009	70.9	2.6
24年3月期	―	37.50	―	37.50	75.00	3,009	72.5	2.5
25年3月期(予想)	―	37.50	―	37.50	75.00		―	

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	58,000	5.2	2,850	△9.0	3,050	6.4	1,800	6.2	44.86
通期	122,500	3.4	7,500	5.7	7,800	8.6	4,500	8.4	112.16

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期	40,188,240 株	23年3月期	40,188,240 株
② 期末自己株式数	24年3月期	65,426 株	23年3月期	65,023 株
③ 期中平均株式数	24年3月期	40,123,063 株	23年3月期	40,123,499 株

(参考)個別業績の概要

平成24年3月期の個別業績(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期	102,129	5.1	6,685	△5.4	6,766	△8.8	3,852	△8.9
23年3月期	97,212	3.2	7,065	21.5	7,418	19.8	4,230	25.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期	96.01	―
23年3月期	105.43	―

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期	137,541	119,500	86.9	2,978.36
23年3月期	134,855	118,475	87.9	2,952.79

(参考) 自己資本 24年3月期 119,500百万円 23年3月期 118,475百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、不確実な要素が含まれ変動する可能性を有しております。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。
なお、予想については添付資料の2～4ページの「1. 経営成績」をご参照ください。

○添付資料の目次

１．経営成績 …… 2
（１）経営成績に関する分析 …… 2
（２）財政状態に関する分析 …… 3
（３）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 …… 4
２．企業集団の状況 …… 5
３．経営方針 …… 5
（１）会社の経営の基本方針 …… 5
（２）中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題 …… 5
４．連結財務諸表 …… 6
（１）連結貸借対照表 …… 6
（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書 …… 8
（連結損益計算書） …… 8
（連結包括利益計算書） …… 9
（３）連結株主資本等変動計算書 …… 10
（４）連結キャッシュ・フロー計算書 …… 12
（５）継続企業の前提に関する注記 …… 13
（６）追加情報 …… 13
（７）連結財務諸表に関する注記事項 …… 13
（連結貸借対照表関係） …… 13
（連結損益計算書関係） …… 13
（セグメント情報等） …… 14
（１株当たり情報） …… 15
（重要な後発事象） …… 16
５．その他 …… 16
役員の異動 …… 16

１．経営成績

（１）経営成績に関する分析

①当期の経営成績

当期（平成23年４月１日～平成24年３月31日）の経済環境は、東日本大震災により活動が停滞したものの、その後の復興を背景に緩やかな持ち直しが感じられました。

住宅市場では、新設住宅着工戸数が４月からの累計で前年比2.7%増の改善が見受けられました。優遇金利や住宅版エコポイント制度などが期限を迎えたもののその後再開され、復興活動の進展もあわせて、住宅市場には緩やかな回復がもたらされました。

近年、高齢化やワークライフバランスの尊重などにより、住空間への関心は従来以上に高まっております。当社グループはそうした要望に応え、品質、デザインに優れた商品の開発と提案により、暮らしに彩りを提供し、また、環境に配慮し、良品廉価を貫きつつ、非住宅市場やリフォーム市場においても深耕開拓、販路の拡大などによる営業活動を展開してまいりました。

これらの結果、当期の連結業績は、売上高118,518百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益7,095万円（同0.9%減）、経常利益7,180百万円（同4.6%減）、当期純利益4,151百万円（同2.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(インテリア事業)

壁装材については、平成23年４月に住宅、オフィスから医療福祉施設など各種施設まで使用できる見本帳「ファイン１０００」を、10月には装飾用硬質塩ビ製タックシートの新見本帳「リアテック vol.７」を発行しました。さらに平成24年１月には、上質なデザインと素材を重視、多くの機能壁紙をはじめ、塗料やフィルム商品など特殊商品を収録した壁装材の総合見本帳「エクセレクト」を改訂し発売しました。同時に東京、大阪、福岡、名古屋において、新作壁装展示会「プレミアム・ウォール2012」を順次開催し、設計士やデザイナー、インテリアコーディネーター、施工販売店から好評を博しました。

カーテンについては、平成23年４月に教育、医療、福祉などの各種施設で安心して使用できる全点難燃商品の見本帳「コントラクトカーテン vol.７」を発行しました。また５月には「椅子張総合見本 vol.６」、９月にはオーダーカーテンの見本帳「ソレイユドゥ」を発行し、多様化するニーズに応える豊富な商品バリエーションを収録して販売に努めました。

床材については、平成23年７月に「フロアタイル」の新見本帳を発行し、主として商業施設等の非住宅用途で広く用いられました。これらのほか、既発行の見本帳収録商品の拡販にも努めた結果、インテリア事業における売上高は102,129百万円（前年同期比5.1%増）となりましたが、原油価格高騰による原料高から、営業利益は6,685百万円（同5.4%減）となりました。

(エクステリア事業)

エクステリア事業では、企業間競争の激化などを受け厳しい状況が続いております。このような中、株式会社サングリーンは新規顧客の開拓など地道な営業活動を積み重ねるとともに、子会社化していた株式会社八千代商事を平成23年10月１日に吸収合併し、経営資源の集中による効率化やシナジー効果で収益性の追求を図るとともに、新たなユーザーニーズの開拓に繋げました。

これらの結果、エクステリア事業における売上高は12,293百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は274百万円（同57.7%増）となりました。

（照明器具事業）

照明器具事業の山田照明株式会社では、節電対策商品の需要の高まりを受け、タスク（作業）アンド アンビエント（周囲）の考え方から、スタンド照明で机上の明るさを確保し天井照明の照度レベルを低く設定することで、省エネルギーで快適なオフィス環境を実現する照明を提案しました。これにより、主として可動式アームスタンド「Ｚライト」などＬＥＤ照明の売上が伸長した結果、売上高は4,098百万円（前年同期比20.0％増）、営業利益は132百万円（前年同期は営業損失75百万円）となり、通期で黒字化を達成しました。

②次期の見通し

住宅市場を取り巻く環境は、依然厳しい状態にあるものの、震災後の復旧復興活動や景気刺激政策などを背景に、緩やかな回復に向かうと期待されます。一方で、壁紙、床材等塩化ビニール製品の主原料のひとつである原油の価格上昇は利益圧迫要因として懸念されます。

このような状況のもと、当社グループは引き続き良品廉価を貫くとともに、環境に配慮し、変化する消費者ニーズに沿った商品開発、市場の深耕開拓、販路の拡大、ＩＴの積極的な活用等によるきめ細かな営業展開を行ってまいります。

以上により、次期の連結業績見通しは、売上高122,500百万円、営業利益7,500百万円、経常利益7,800百万円、当期純利益4,500百万円を見込んでおります。

（２）財政状態に関する分析

当期末における総資産は142,247百万円となりました。また、負債は22,838百万円、純資産は119,409百万円となり、自己資本比率は83.9％となりました。

また、現金及び現金同等物は、12,425百万円となりました。

その内訳といたしまして、営業活動の結果得られたキャッシュ・フローは422百万円となりました。これは主に、売上債権の増加額5,095百万円などによる支出があったものの、税金等調整前当期純利益を7,015百万円計上したことによる収入などを反映したものです。

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは209百万円となりました。これは主に、投資有価証券の期限償還額と取得による支出との差額収入408百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出439百万円などによる支出があったことを反映したものです。

財務活動の結果使用したキャッシュ・フローは3,198百万円となりました。これは主に、配当金の支払によるものです。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは、以下のとおりであります。

（キャッシュ・フロー関連指標の推移）

	20年３月期	21年３月期	22年３月期	23年３月期	24年３月期
自己資本比率 (%)	86.0	86.2	85.8	85.0	83.9
時価ベースの自己資本比率 (%)	64.2	62.7	62.3	55.7	61.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	2,367.2	1,819.0	2,564.0	1,217.4	131.8

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※　各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※　株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに算出しております。

※　キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。

※　有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（３）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

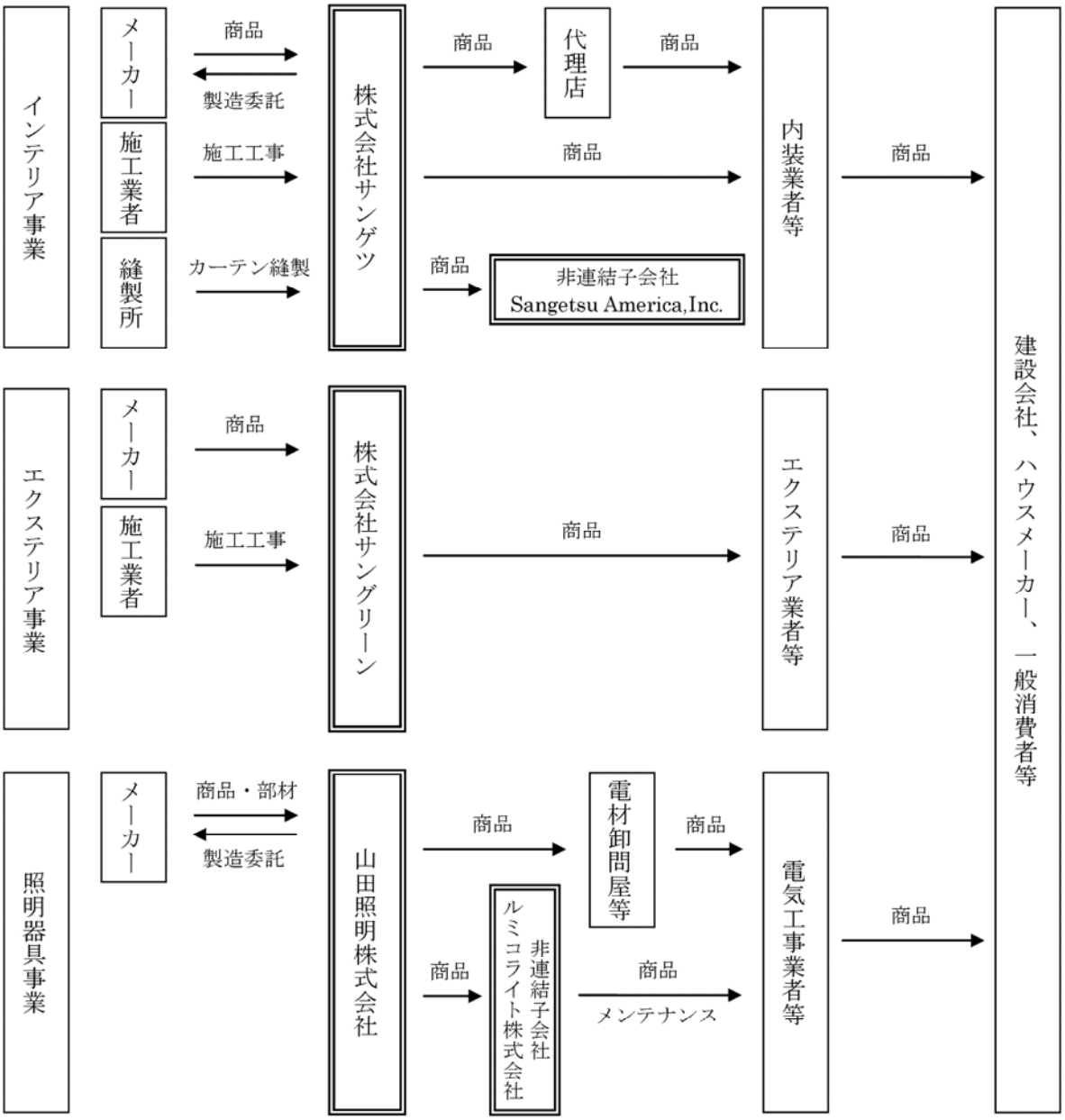
利益配分につきましては、経営の安定、業績の継続的向上を基本として、株主の皆様への安定的配当の維持を図ると同時に配当性向、純資産配当率にも意を用いつつ、将来に向けて会社基盤を強化し、不測の事態に対応できるよう内部留保に努めております。

この方針のもと、当期の期末配当金につきましては、期初の予定通り１株当たり37.5円を予定しており、中間配当１株当たり37.5円と合わせた年間配当金は１株当たり75円、連結での配当性向は72.5％となります。

また、次期の配当金につきましては、厳しい事業環境ではありますが、当期と同額の１株当たり中間配当37.5円、期末配当37.5円、年間75円を予定しております。

２．企業集団の状況

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、当社及び子会社４社で構成され、その主な事業内容と当社及び関係会社の当該事業に係る位置付けは次のとおりであります。なお、株式会社サングリーンは平成23年３月に子会社化していた株式会社八千代商事を10月１日に吸収合併しております。



３．経営方針

（１）会社の経営の基本方針、（２）中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題

以上の項目につきましては、平成23年３月期決算短信（平成23年５月11日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため、開示を省略しております。

当該決算短信は、次のＵＲＬからご覧いただくことができます。

（当社ホームページ）

http://www.sangetsu.co.jp/

（東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ））

http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html

４．連結財務諸表
（１）連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,201	19,077
受取手形及び売掛金	38,477	43,760
有価証券	25,021	24,511
商品及び製品	7,056	8,613
原材料及び貯蔵品	1,248	1,559
繰延税金資産	673	654
その他	452	386
貸倒引当金	△191	△195
流動資産合計	94,939	98,368
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,132	23,141
減価償却累計額	△16,316	△16,766
建物及び構築物（純額）	6,816	6,374
機械装置及び運搬具	10,298	10,295
減価償却累計額	△8,925	△9,159
機械装置及び運搬具（純額）	1,372	1,136
工具、器具及び備品	2,868	2,891
減価償却累計額	△2,500	△2,534
工具、器具及び備品（純額）	368	356
土地	19,609	19,613
リース資産	42	42
減価償却累計額	△19	△24
リース資産（純額）	23	18
建設仮勘定	7	344
有形固定資産合計	28,198	27,843
無形固定資産		
その他	511	363
無形固定資産合計	511	363
投資その他の資産		
投資有価証券	3,252	3,363
長期貸付金	3	198
繰延税金資産	744	939
その他	11,962	11,827
貸倒引当金	△703	△655
投資その他の資産合計	15,259	15,672
固定資産合計	43,969	43,879
資産合計	138,908	142,247

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,045	13,476
短期借入金	―	22
1年内返済予定の長期借入金	21	21
リース債務	8	7
未払法人税等	1,940	1,981
賞与引当金	895	951
災害損失引当金	164	―
その他	2,041	2,379
流動負債合計	17,116	18,839
固定負債		
長期借入金	162	140
リース債務	18	10
退職給付引当金	2,180	2,413
役員退職慰労引当金	69	74
長期未払金	952	941
その他	324	417
固定負債合計	3,707	3,998
負債合計	20,823	22,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,616	13,616
資本剰余金	20,005	20,005
利益剰余金	84,207	85,348
自己株式	△122	△122
株主資本合計	117,707	118,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377	561
その他の包括利益累計額合計	377	561
純資産合計	118,084	119,409
負債純資産合計	138,908	142,247

（２）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	112,118	118,518
売上原価	79,180	84,742
売上総利益	32,938	33,775
販売費及び一般管理費	25,776	26,679
営業利益	7,161	7,095
営業外収益		
受取利息	49	48
受取配当金	58	55
不動産賃貸料	120	120
その他	198	182
営業外収益合計	426	407
営業外費用		
支払利息	3	2
不動産賃貸費用	12	11
為替差損	34	286
その他	7	20
営業外費用合計	57	321
経常利益	7,530	7,180
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	32	－
特別利益合計	33	0
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	121	19
投資有価証券評価損	42	5
減損損失	－	134
災害による損失	164	－
その他	0	5
特別損失合計	328	165
税金等調整前当期純利益	7,235	7,015
法人税、住民税及び事業税	3,070	3,071
法人税等調整額	△78	△207
法人税等合計	2,992	2,864
少数株主損益調整前当期純利益	4,242	4,151
当期純利益	4,242	4,151

（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
少数株主損益調整前当期純利益	4,242	4,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△287	183
その他の包括利益合計	△287	183
包括利益	3,955	4,334
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	3,955	4,334

（３）連結株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
株主資本		
資本金		
当期首残高	13,616	13,616
当期変動額		
当期変動額合計	―	―
当期末残高	13,616	13,616
資本剰余金		
当期首残高	20,005	20,005
当期変動額		
当期変動額合計	―	―
当期末残高	20,005	20,005
利益剰余金		
当期首残高	82,973	84,207
当期変動額		
剰余金の配当	△3,009	△3,009
当期純利益	4,242	4,151
当期変動額合計	1,233	1,141
当期末残高	84,207	85,348
自己株式		
当期首残高	△121	△122
当期変動額		
自己株式の取得	△0	△0
当期変動額合計	△0	△0
当期末残高	△122	△122
株主資本合計		
当期首残高	116,474	117,707
当期変動額		
剰余金の配当	△3,009	△3,009
当期純利益	4,242	4,151
自己株式の取得	△0	△0
当期変動額合計	1,232	1,141
当期末残高	117,707	118,848

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	665	377
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△287	183
当期変動額合計	△287	183
当期末残高	377	561
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	665	377
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△287	183
当期変動額合計	△287	183
当期末残高	377	561
純資産合計		
当期首残高	117,139	118,084
当期変動額		
剰余金の配当	△3,009	△3,009
当期純利益	4,242	4,151
自己株式の取得	△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△287	183
当期変動額合計	945	1,324
当期末残高	118,084	119,409

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	7,235	7,015
減価償却費	1,323	1,151
減損損失	－	134
のれん償却額	78	40
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△90	△55
災害損失引当金の増減額（△は減少）	164	△164
受取利息及び受取配当金	△107	△103
支払利息	3	2
為替差損益（△は益）	17	214
売上債権の増減額（△は増加）	△2,280	△5,095
たな卸資産の増減額（△は増加）	△670	△1,856
仕入債務の増減額（△は減少）	1,056	1,269
その他	441	756
小計	7,170	3,309
利息及び配当金の受取額	227	147
利息の支払額	△3	△3
法人税等の支払額	△2,956	△3,031
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,437	422
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,982	△10,891
定期預金の払戻による収入	3,421	10,921
有形固定資産の取得による支出	△302	△439
投資有価証券の取得による支出	△24,824	△24,591
投資有価証券の償還による収入	20,500	25,000
保険積立金の積立による支出	△872	△748
保険積立金の解約による収入	1,501	788
その他	238	△248
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,320	△209
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	－	30
短期借入金の返済による支出	－	△27
長期借入金の返済による支出	△22	△182
配当金の支払額	△3,010	△3,009
その他	△8	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,041	△3,198
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17	△214
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,941	△3,200
現金及び現金同等物の期首残高	21,460	15,519
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	－	106
現金及び現金同等物の期末残高	15,519	12,425

（５）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（６）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当連結会計年度の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

（７）連結財務諸表に関する注記事項

（連結貸借対照表関係）

１　非連結子会社に対するものは、次のとおりであります。

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
投資有価証券（株式）	291百万円	118百万円

２　担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
建物及び構築物	123百万円	117百万円
土地	710	710
計	834	827

担保付債務は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
買掛金	57百万円	153百万円
１年内返済予定の長期借入金	21	21
長期借入金	162	140
計	241	316

３　連結会計年度末日満期手形

連結会計年度末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当連結会計年度の末日は金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
受取手形	－百万円	1,487百万円
支払手形	－	244

（連結損益計算書関係）

一般管理費に含まれる研究開発費

前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
126百万円	125百万円

（セグメント情報等）

〔セグメント情報〕

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業会社ごとに取扱商品やサービスが異なっており、「インテリア事業」は当社が、「エクステリア事業」は株式会社サングリーンが、「照明器具事業」は山田照明株式会社が、それぞれ展開しています。各社はグループとして必要な情報を共有し、販売上の協力体制を取りながら、個々に戦略を立案して事業活動を行い、当社取締役会では各事業会社から受けた経営成績、財務情報の報告を基礎として、意思決定や業績評価を行っております。

したがって、当社グループは事業会社単位を基礎としたセグメントから構成されており、「インテリア事業」、「エクステリア事業」、「照明器具事業」の３つを報告セグメントとしております。

「インテリア事業」は壁装材、カーテン、床材等のインテリア商品を、「エクステリア事業」は門扉、フェンス、テラス等のエクステリア商品を、「照明器具事業」はダウンライト、Ｚライト等の一般照明器具を販売しております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、最近の有価証券報告書（平成23年６月28日提出）により開示を行った「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

３．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自　平成22年４月１日　至　平成23年３月31日）

（単位：百万円）

	インテリア事業	エクステリア事業	照明器具事業	計	調整額（注）１	連結財務諸表計上額（注）２
売上高						
外部顧客への売上高	97,212	11,501	3,404	112,118	－	112,118
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	12	12	△12	－
計	97,212	11,501	3,416	112,130	△12	112,118
セグメント利益又は損失（△）	7,065	174	△75	7,163	△2	7,161
セグメント資産	132,606	5,570	1,597	139,773	△864	138,908
その他の項目						
減価償却費	1,262	31	23	1,318	△0	1,317
のれんの償却額	－	78	－	78	－	78
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	448	6	6	461	△5	456

（注）１．セグメント利益又は損失、セグメント資産及びその他の項目の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用と同費用に係る償却額が含まれております。

当連結会計年度（自　平成23年４月１日　至　平成24年３月31日）

（単位：百万円）

	インテリア事業	エクステリア事業	照明器具事業	計	調整額（注）１	連結財務諸表計上額（注）２
売上高						
外部顧客への売上高	102,129	12,290	4,098	118,518	－	118,518
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	3	0	3	△3	－
計	102,129	12,293	4,098	118,521	△3	118,518
セグメント利益	6,685	274	132	7,092	2	7,095
セグメント資産	135,292	6,067	1,762	143,121	△874	142,247
その他の項目						
減価償却費	1,100	26	20	1,147	△0	1,146
のれんの償却額	－	40	－	40	－	40
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	638	44	20	703	△0	702

（注）１．セグメント利益、セグメント資産及びその他の項目の調整額は、全てセグメント間取引消去であります。

２．セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用と同費用に係る償却額が含まれております。

（１株当たり情報）

前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
１株当たり純資産額　2,943円06銭	１株当たり純資産額　2,976円09銭
１株当たり当期純利益金額　105円75銭	１株当たり当期純利益金額　103円46銭
なお、潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後１株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（注）１．１株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当連結会計年度 （平成24年３月31日）
純資産の部の合計額（百万円）	118,084	119,409
純資産の部の合計額から控除する金額（百万円）	－	－
普通株式に係る期末の純資産額（百万円）	118,084	119,409
１株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（千株）	40,123	40,122

２．１株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 （自　平成22年４月１日 至　平成23年３月31日）	当連結会計年度 （自　平成23年４月１日 至　平成24年３月31日）
当期純利益（百万円）	4,242	4,151
普通株主に帰属しない金額（百万円）	－	－
普通株式に係る当期純利益（百万円）	4,242	4,151
期中平均株式数（千株）	40,123	40,123

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

５．その他

役員の異動

本日、別途開示いたします。